



武田正樹 議員

災害時の弱者支援について尋ねる

問

中国四川大地震は、郊外では食糧や情報が足りず支援に格差があった。市も大都市名古屋に比べ、救出や物資支援は遅れると思う。当然、独自の救出や支援計画が必要になるが、災害時の弱者支援について聞く。

要援護者リストは自主防災会と共有

(1) 災害時要援護者(Ⅱ災害時支援が必要な乳幼児、高齢者、外国人等)のリスト作成の現状と、地域防災計画には、自主防災組織等と連携し要援護者の情報を共有するところがあるが、具体的にどうなっているのか。

(2) 避難支援計画がどのように策定されているのか。

答 防災安全課長

(1) ひとり暮らし高齢者、高齢者のみ世帯は民生委員の協力を得て、お手上げ方式(Ⅱ災害時の支援を求めると同意書を出した人が対象となる方法)でリスト化し、自主防災組織や区長と共有している。

また今後整備する上で、各課で乳幼児、障害者、外国人対象者はつかんでいる。しかし、個人情報保護の関係で、具体的な調査には至っていない。

(2) 基本的には地域防災計画に基づき実施する。個々の災害弱者に対し、誰がどう避難させるか等の避難支援プランの策定や、平常時から要援護者と接する民生委員や介護職員等との連携を構築する必要があると思う。

◀木曾川用水路のフェンス(森津地内)



用水路フェンスの建て替えを

問

次の用水路の防護フェンスについて尋ねる。

(1) 木曾川用水路の防護フェンスは、筏川以南で筏川西岸用水路が約1、179m、鍋田用水路は6、350mある。昭和53、54年に建設され約30年経過し、かなり老朽化が進んでいる。破損箇所もあり危険があるので、3年から5年の期間で更新してほしいがどうか。

破損箇所は海部土地改良区へ要望する

答 農政課長

(1) 市として再度、点検をしていくが、地域において破損等の指摘があれば対応していきたい。

これは管理者が海部土地改良区なので、市として(修繕等)を要望していきたい。

(2) 道路管理課である土木課と農政課、また海部土地改良区と検討させてほしい。

(3) 今後、関係機関と相談し、かなりの距離があるのでそういったものも含め、検討させてほしい。

(2) 交差点での事故がたくさんある。そこで、フェンスの構造を見やすく分かりやすいものにするかどうかはできないか。

(3) 景観的に見てこのフェンスは鉄条網があって、水田にはそぐわない。(更新時に)考慮してほしいがどうか。